

こんにちは



豊前市議会です



(福岡県北部市議会議長・副議長会)



6月定例会(6/6 ~ 6/21)主な内容

目次
CONTENTS

議案の概要	2P
令和元年6月定例会 議案審議結果	3P
一般質問	4~10P
その他	11P
トピックス・編集後記	12P

議会へのご意見をお寄せ下さい

発行/豊前市議会 豊前市大字吉木955 TEL82-1111 内線1311
ホームページ/http://www.city.buzen.lg.jp

議案の概要

令和元年第2回定例会は、6月6日から6月21日までの16日間の会期で開催されました。

本定例会には、市長より条例案件5件、専決処分案件4件、その他の案件2件、予算案件1件、報告案件2件の合計14件が提出されました。

所管の常任委員会等で慎重に審査した結果、条例等の一部改正1件に関しては否決され、その他は原案どおり可決・承認されました。

また、最終日に市長よりその他の案件1件、同意案件2件が追加提案され、原案のとおり可決、同意されました。

同意案件

市長からの提案に対し、全会一致で同意しました。(敬称略)

■公平委員会委員

豊前市大字松江

鳥飼 香

■固定資産評価審査委員会委員

豊前市大字中村

宮崎 信人

議案第23号

豊前市総合福祉センター設置及び管理運営に関する条例等の一部改正を否決!!

文教厚生委員会で、慎重審査を行い「図書館・多目的センター等の会議室等の使用料の整合性が取れてないため、また消費税抜き使用料の見直しが必要なため」と言った討論があり、委員会による採決の結果、全会一致で否決となりました。

常任委員会で慎重審査し申し入れをしました。

産業建設委員会申し入れ事項

予算執行においては、計画を十分に練り、効果が上がるよう、特にジビエ販売促進事業の計画を詳細に作成し、出来次第、産業建設委員会に報告すること。

以上、申し入れました。

総務委員会申し入れ事項

◎ 議案第32号(プレミアム付商品券)について

1. 豊前商工会議所等と協議をして、地元でできる分については地元で行うように。
2. 国と県がそれぞれ行うプレミアム付商品券事業で、使用可能な店舗を統一するように。
3. 使用期限についても3月31日に統一できるよう努力するように。

以上、申し入れました。

文教厚生委員会申し入れ事項【閉会中】

◎ 平成31年度豊前市一般会計予算(豊前市環境センターのし尿処理費委託料)について

3月議会の当初予算は、委託で4~8月で5人、9~3月で2.7人で計算し、説明をうけ、可決した。にもかかわらず、4月初めに6月までの委託契約をしている。このように、大幅な変更をした場合には、すみやかに議会に報告すること。

◎ 豊前市環境センター処理槽室制御盤の故障について

今回のようなトラブルは、いつ起こるか分からない。今後、トラブルが起きたときの責任の所在をはっきり示し、報告すること。

なお、安全運転に努めて今後の運営にあたっていただきたい。

以上、申し入れました。

常任委員会・議会運営委員会の委員名簿

総務委員会
文教厚生委員会
産業建設委員会
議会運営委員会

古川哲也・内丸伸一・秋成英人・郡司掛八千代・黒江哲文・福井昌文・尾澤満治
福井昌文・秋成英人・為藤直美・内丸伸一・平田精一・鎌田晃二・岡本清靖
黒江哲文・郡司掛八千代・為藤直美・平田精一・鎌田晃二・爪丸裕和・磯永優二
鎌田晃二・為藤直美・黒江哲文・平田精一・福井昌文・古川哲也

令和元年6月定例会 議案審議結果

「○」……………賛成 「●」……………反対
 「議長」………議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	為藤直美	内丸伸一	秋成英人	郡司掛八千代	黒江哲文	平田精一	福井昌文	鎌田晃二	岡本清靖	古川哲也	尾澤満治	爪丸裕和	磯永優二	賛成	反対
議案第21号	豊前市税条例等の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第22号	豊前市行政財産使用料条例等の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第24号	豊前市道の駅「豊前おこしかけ」施設の設置及び管理に関する条例等の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第25号	豊前市森林環境譲与税基金条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第26号	専決処分について（豊前市税条例の一部改正について）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第27号	専決処分について（豊前市国民健康保険税条例の一部改正について）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第28号	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第29号	市道路線の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第30号	専決処分について（令和元年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算 第1号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第31号	専決処分について（令和元年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算 第1号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第32号	令和元年度豊前市一般会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第33号	財産の取得について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
同意案第2号	豊前市公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
同意案第3号	豊前市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第23号	豊前市総合福祉センター設置及び管理運営に関する条例等の一部改正について	原案否決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長	0	12

議案第23号原案否決!!

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『平成豊明会』の一般質問



平田 精一



黒江 哲文



内丸 伸一

【質問項目】

(内丸伸一議員)

① 環境関連施設

② 安全・安心なまちづくり

(平田精一議員)

③ 環境問題

④ 地域おこし協力隊

⑤ 地域づくり協議会の進捗状況と問題点

(黒江哲文議員)

⑥ 市民生活の充実のための豊前市ビジョン

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。

詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。

また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご覧ください。

女性リーダー育成を

内丸議員 安全安心なまちづくりについて質問する。昨今は、避難所における女性リーダーの育成に力を入れている自治体も増えている。豊前市では、大規模な災害発生の確率は低いと思うが、いざというときのために、女性リーダーの育成は必要不可欠だと思つがどうお考えか。

という枠の中で考えても、女性リーダーの増員は必要だと考えるが、市では、その増員のために何か取り組んでいるか。

総務課長 災害時の避難所の運営等において、女性の視点の必要性が認識、重要視されるようになってきた。市としても、男女のニーズの違いに配慮するとともに、男女どちらかが過度な負担を抱えることがないよう、また、災害時、あるいは災害復興において、女性の意見が反映されるように、災害対策決定の場合は、防災活動の場に女性が参画できるような仕組みづくりが重要と認識している。

総務部長 市では、災害時における男女共同参画の視点が特に重要ということで、昨年8月、防災意識の啓発を図るため、防災セミナーを行った。益城町の方を招いて、避難所運営での女性ならではの視点や、生の声を皆さんに聞いていただいた。

内丸議員 現在、豊前市の防災士は、男性に比べ女性が極端に少ない。いざというときに力を発揮できないのではと思うが、女性の防災士を増やすために、どういった活動をしなければいけないと考えているか。

総務部長 今後、広報紙で防災士の資格取得の募集をする際に、例えば女性枠

を一名は確保するとか、そういう周知を図っていきたいと考えている。

内丸議員 性的弱者を守ること、性犯罪を未然に防ぐためにも、事前に対策をとり、事が起こったときには、しっかりと対応できる体制を整えておくことが大事だと思うが、市長どうか。

市長 安心、安全、防災、本当に大きな課題である。まず女性の皆さんに、いざというときの、備えの要の一つとして、立ち上がっていただけなく、いろんな機会を通して呼びかけをしていかなければと痛感している。

内丸議員 市民が安心安全に暮らせるまちをつくるためにも、ぜひ、積極的に取り組んでいただきたい。



小さな自治体から率先して

ていない。

平田議員 資源ごみとして出すプラスチックだが、洗浄がうまくいってなくて使えない状態のものがたくさんでてくるみたいだ。そういった点で、市民への広報はどうしているか。

生活環境課長 ペットボトルに関しては、洗って出すことを徹底していただくようお願いしている。

平田議員 せっかく資源ごみとして出すので、そういう広報をしっかりと行い、使える資源ごみにするべきだと思う。

また、北九州市で、地球温暖化防止のため、植物を原料とするバイオマスプラスチック製のごみ袋を導入するとあった。そこで、豊前市でも取り組みむつもりはないか。

市長 プラスチックごみの問題は、世界的な広がりを見せている。私たちも次の世代に良い環境を伝えなければならぬ。石油由来、ガス由来のプラスチックがそのまま残って汚染のもとになっている。これを切り替えていくというのは必然であると思う。ただ、今はコス

トが高いので、新しい素材も出てきており、次の展開というのは我々も注視しながら、早く取り組みたいと思う。

平田議員 プラスチックごみの問題は、一人一人の意識改革だと思う。そこで、教育的観点から、どのように子どもたちに教えて、指導していくのか。

教育長 環境問題というのは、むしろ大人より子どもたちのほうが学んでいるのが実態ではないか。そういったことを家庭の中で論議していくこと、より理解を深めていくことが大事ではないかと考えている。

平田議員 国際的にもこういう問題が起きているし、ごみ袋有料化と、国全体で動いているが、やはりそういう問題は、小さな自治体から率先してやるべきだと思うので、今後もしっかりやっていただきたい。



市民生活の充実のために

黒江議員 ライフプランの充実には、子どもたちの環境整備が最も重要と考える。そこで子どもたちの学ぶ場所、学校の環境整備はどのような状況か、現場の声とその対応の観点から質問する。PTA連合会や小学校校長会から様々な要望が出ているが、特別支援教育支援員について、豊前市の回答は、「各学校の要望を検討し、児童生徒数の状況を確認しながら必要な配置をしていく」とあるが、要望に対し対応はできたのか。

学校教育課長 要望に応じて、指導主事、あるいは特別支援教育のコーディネーター等に現場確認していただながら、必要に応じて配置している。

黒江議員 必要に応じてというが、利用する児童生徒数は増加傾向にあると聞くが、なぜ指導員は減つ

たのか。

学校教育課長 児童生徒の卒業やクラス編成、また、普通学級等で配置していた支援員さんを他の必要な学校等に配置した、という事例もある。

黒江議員 支援を必要とする生徒が増えている環境の中で、そのニーズにあわせて増やすか決めると思うが、現状が見えているのか疑問に思う。ちゃんと現場を見てしっかりと対応しているのか。

学校教育課長 できる限りではあるが、現場に直接確認に行き、学校との協議の中で、こちらで判断している経緯がある。

黒江議員 いくらお金がなくても子どもたちの環境だから、お金のあふなしで子どもに対するサービスに差が出るのはおかしい。

その他あがっている、市のマイクバス使用やお

やし会活動、校長先生の裁量で決められる予算の要望についてもそうだが、豊前市の予算を見たときに、これが担当課だけの問題なのか。豊前市全体でどこに特化するかということが重要ではないかと思うが、この辺の考え方は？

市長 限られた予算の中でどのようにやっていくのか。将来的にはわからないが、ふるさと納税の使途についても、委ねられた部分はほとんど教育予算に回している。そのような中でこのような実態というのは、本当に残念に思っている。

黒江議員 予算立ての際に確保しておかないと、市民サービスの低下を招く。だから、市民サービスの予算に対しては、ちゃんと確保してほしい。市民のためにどうしていくのか、魅力あるまちづくりのため、職員一丸となって市民目線に立って努力していただきたい。



一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『平成豊友会』の一般質問



磯永 優二



福井 昌文



秋成 英人



鎌田 晃二

【質問項目】

(秋成英人議員)

① JR関係

② 病後児保育の市民サービス

(福井昌文議員)

③ 墓地環境整備

④ 交通手段

(鎌田晃二議員)

⑤ 防災対策

⑥ 市営住宅

⑦ 不育症の周知や患者支援の推進

⑧ 手話施策推進

⑨ し尿処理

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておられますので、お気軽にご閲覧ください。

子育て世代に 魅力ある政策を

秋成議員 豊前市は、病後児保育としてカンガールのポッケがある。利用された方からは、看護師の先生の対応が非常によく、安心して預けることができるという評判を聞いている。そこで、どのような症状の子どもを預けられるのか、利用の概要をお聞きしたい。

市民福祉部長 風邪をひいた、ぜんそくがひどい、骨折などのけが、消化不良等の症状で保育園に行かせるには心配、また水疱瘡やおたふく風邪などの回復期で、まだ登園の許可が出ないなどの場合である。

利用できるのは、国民の祝日、お盆の8月13日から15日までの3日間、年末年始の12月29日から年明けの1月3日までの6日間が休みで、それを除いた月曜日から金曜日になって

秋成議員 利用は原則として前日の16時までに病後児保育室に予約となっている。利用者の利便性を考えるならば、当日でも対応可能の方がいいと思う。市として対応が可能かお尋ねする。

市民福祉部長 事前の予約になっているが、緊急で預けざるを得ない場合は、スタッフ、特に看護師さんの確保が出来、受け入れ態勢が整うのであれば、当日でも受け入れることもある。

先程、月曜日から金曜日は預かると答えたが、常時看護師さんを配置しているわけではない、予約があったときのみ配置するようになっている。

秋成議員 病後児保育も大事だが、病児保育も市民は望んでいるのでは。子育て支援のためにも、病児保育の導入を図りたいのでは。また、予

算はどのくらい必要なのか。

市民福祉部長 病児保育の実施には、医療機関との連携が必要不可欠である。今のカンガールのポッケでは出来ないもので、医療機関と委託契約をして実施することになると思う。その場合、初期投資も必要になり、運営費・委託料も生じるので一概にいくらかかるとは言えない。

秋成議員 豊前市単独で予算を確保するのが難しいならば、現在病児保育をすでに実施している吉富町と上毛町へ、積極的に連携できるよう持ちかけたら如何か。

市長 吉富町・上毛町はすでに実施しており、築上町を含め、協議をしながら、地域連携でどのように体制を整えていけばいいのか、専門家の意見を聴きながら、どのようにすれば実現できるのか、ご提案をもとに検討していきたい。

秋成議員 ぜひ、これから子どもを持つと考える世代にも、魅力ある政策を打ち出していきたい。

墓地の適切な管理を

が整ったところ、個人に管理を任せているところがある。また、市内全体で墓が何件あるかは把握出来ていない。

福井議員 全国的にも話題になっていて、受け継がれてきた墓を更地に戻す墓じまいが急増している。そこで豊前市の墓じまいの現状をお伺いする。

生活環境課長 墓じまいが何件かという数字はないが、一度埋葬した後に別の場所に改葬する墓地埋葬法の改葬許可は多い時では年間28件あった。

福井議員 故郷を離れて暮らす人が増え、また血縁関係が薄れ、お墓が放置され、そのまま老朽化し荒れていくことが懸念される。その対策についてお聞きする。

市民福祉部長 全国共通する課題だと思っている。今後、近隣の自治体と意見交換などしてみたい。

福井議員 すでに老朽化した墓が崩れ、道をふさいでいる所もある。今後増え続け、墓参りに来た高齢者の方が転倒する可能性もある。その対応策についてお聞きする。

てお聞きする。

生活環境課長 最近お墓参りに来ない方が増え、風災害で墓石が倒れている光景が段々見受けられるようになってきた。市役所としては、危険家屋等と一緒に対応で、所有者さんを必死に見つけようとしているが、難しいのが現状である。

現在は、市道・公共なものに危害が及ぶ場合は簡易的な対処をしている。今後、所有者を見つけていることで対処していきたい。

市長 誰が責任者であるのか分からない状況が多くなっている。基本的には、市民などの財産になると思うので、公費で何らかの処置が出来るのか、県・国に相談しながら対応をしていきたいが、なかなか難しいというのが現状である。

福井議員 墓じまいに対して補助金を出して対策をしている自治体もある。少子化でお墓を継承する人がいない、いわゆる無縁墓が増えてくるのが予測され、自治体が何らかの対策を考える時期にきている。早急に執行部には最善な取り組みを期待する。

不育症の周知や患者支援の方法について

鎌田議員 不育症とは、2回以上の流産・死産、早期新生児死亡を繰り返して、結果的に子どもを持っていないこと、と定義されている。厚生労働省の実態調査では、流産は、妊娠の10から20%の頻度で起こると言われている。流産を繰り返す不育症患者は、全国で約140万人、毎年約3万人が新たに発症し、妊娠した女性の16人に1人が不育症であるとされている。不育症の原因は様々あるが、厚生労働省研究班による

と検査や治療によって80%以上の方が出産にたどり着けると報告がされている。つまり不育症を知り、適正な検査や治療をすれば、多くの命を守ることが出来る、もちろん出生率も上がる。

しかし、不妊症と比べ、まだ不育症を知らない人

が多く、流産・死産をしたことによって、心身共に大きなダメージを受け、苦しむ女性の4割は、強い心のストレスを抱えたままである。このようなことから不育症に悩む方に対して正確な情報を提供し、心理的な相談や医学的な相談を行い、患者支援の取り組みを行っていく必要があると思う。そこで不育症に対してどのような認識を持っているか、伺いたい。

市民福祉部長 この不育症という症状を今初めて知り、ちょっと恥ずかしい限りだなと思っている。この不育症がまだ一般的に知られてなく、悲しい思いをされている方が、多くいることも理解できた。今後しっかりと周知をし、啓発をしなければと強く感じ

るが、原因はわかるか。

市民福祉部長 相談がないとは聞いているが、原因はわからないので調査したい。

鎌田議員 不育症のことを改めて勉強させてもらった。助成をしている自治体があるというの、今回勉強させてもらった。ぜひ、広報をし、しっかりと周知をしていただくことをお願いする。



一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『無党派議員』の一般質問

【質問項目】

(為藤直美議員)

- ① 地域公共交通機関
- ② 住みたい町豊前市をめざして

【質問項目】

(郡司掛八千代議員)

- ① 地域ケアシステムとボランティアセンターの役割
- ② 生涯学習推進基本計画と地域づくり協議会

【質問項目】

(爪丸裕和議員)

- ① 令和を迎え、これからの豊前市の政策

【質問項目】

(古川哲也議員)

- ① 豊前市の水事業
- ② 豊前市にあるJRの駅
- ③ ふるさと納税

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。

詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご閲覧ください。

地域公共交通機関について



為藤 直美

為藤議員 JR宇島駅では、朝と夕方しか駅員がいない状況であり、電光掲示板も消え、不便が多くなる。宇島駅を活用し、交通弱者や観光客の利便性を高めるためにも、市バスとの連携が大切であると考える。

しかし、市バスとJRの接続状況について、連携が悪く不便との声を聞く。JRとの接続改善が必要と思うが、いかがか。

市民福祉部長 JRの駅は豊前市の玄関口であり、公共交通を考える上でも重要な結節点である。市バスとの接続を便利にすることで、利用者の拡大を図らねばと考えるが、朝の便はスクールバスも兼用した運行をしているため、原課と協議したい。

為藤議員 平成28年6月に策定された豊前市公共交通網形成計画の中で、JRとの接続改善の必要性、経費の削減、運行路線を含めた経由地の見直し、通勤・通学、通院、買い物利用等の利便性の確保に努め、公共交通マップを作成し利用促進を図るとあったが、公共交通マップは作成したのか。

市民福祉部長 マップは作成していないが、JRや市バスの乗り継ぎ等が検索できるスマホのアプリであるナビタイム活用の広報に今は努めたい。

為藤議員 ナビタイムは、とても便利なツール。マップ作成に費用もかかるので、パソコンやスマホの活用は多くの方の目に届くが、利用者には高齢者も多いので、分かりやすい表示も必要。市バスは、市民の足でもあるが、経費の削減、利便性を高め、他の公共交通機関との連携を考え、必要に応じた運行の現

状を把握し、運行計画の見直し、調査、検証が大切である。今後の市バス運営について伺いたい。

市民福祉部長 今の市バスの状態をただ続けるだけでは、収支は改善しない。抜本的な改善が避けられないと思う。しかし、高齢者の事故が社会問題になっている中、今後は、マイカーを手放し、公共交通機関に頼る高齢者が急激に増えると思うので、どう公共交通機関に取り込むのか、ニーズに応えられるような市バスのあり方が問われると思う。

為藤議員 中山間地域が多く、広域にわたるため、バス停が遠いなど、行き届いた市民サービスを必要とするが、財政負担が増えない工夫をしつつ、移動手段を確保し、利便性と効率性のバランスの取れた運営をお願いしたい。



豊かな地域づくりの実現を



郡司掛 八千代

郡司掛議員 いま、地域づくり協議会が立ち上がっているが、現在の進捗状況は？

教育部長 本年、6月現在で、地域づくり協議会の設立の申請を終えている地区が宇島、大村・青畑、黒土、合河、三毛門の5地区、移行準備中が千束、山田、横武、八屋の4地区、取り組みを協議している地区が、角田、岩屋となっている。

郡司掛議員 地域包括の健康づくり、ボランティアなど、受け皿が地域づくり協議会へ流れ込んでいるのではと感じる。少子高齢化が進み、区長のなり手が無い今、どのような形なのか。

教育部長 地域で活動をしているいろいろな団体がつながり、一つの枠を作った

上で、地域のことを地域で考える、取り組むという運営をしてほしいと考えている。

郡司掛議員 各地域で、課題が違うと思う。全ての地域住民が、他人事ではなく、自分事と捉え、協力しなければできない事業だと思う。地域に入っていない住民に、課題が残ると思うが、どのような対応を考えているか。

教育部長 区に入っていない方への対応は、大きな課題だと考えている。庁内で設置している生涯学習推進本部の議論の中で、どういう取り組みが必要か検討していきたい。

郡司掛議員 区に入っていない方が地域づくり協議会に入り、その中で、これなら地域に入るのか、という考え方も出てくるかもしれない。また、地域づくり協議会では、小学校・中学校も軸になっている。教育機関としてどう関わっていくのか。

教育部長 いま、学校の運営をコミュニティスクールという手法を生かす方向で、条件整備を進めている。これも地域の力を結集して、学校・地域で子どもを育てようという方向性である。地域づくり協議会の取り組みが深まることで、学校の教育活動が充実し、地域住民の連携を深めていくことが期待される。

郡司掛議員 健康づくり、地域づくり、ボランティアはつながっており、相互扶助の関係にあると思う。いかに条件整備を進めようと、市民一人一人が学ぶ意欲を持ち、主体的な行動を起こさなければ、豊かな地域づくりは実現しないのではないか。

昔から、子どもは地域で育てられると言われていた。そのことが、今からの時代に重要になってくるのではないかと思う。



少子化対策の

取り組みについて



爪丸 裕和

爪丸議員 少子化対策について、婚姻届が10年前から比べると平成20年度が216件、平成30年度で132件になっており、80件ぐらい減ってきているが、婚姻数が減れば出生数も比例して下がってくる。婚姻を向上するために、豊前市も事業に取り組んでいるのか。

教育部長 婚姻にかかる事業は、生涯学習課のほうで平成19年度より、商工会議所青年部の協力で出会い応援事業というものを継続して実施をしている。現在までに、年間に1回、2回募集して、男女の出会いの場を提供し、今まで延べ698人の方が参加している。また、正式には調査を

行っていないが、5組から8組程度、カップルが成立したと聞いている。

爪丸議員 あまり成果が現れない状況だが、何か他に婚姻の向上に向けた取り組みを伺いたい。

教育部長 婚姻率の低下は、全国的な傾向であり、個人の意思に任せることであるので、妙案が浮かんでこない現状である。

爪丸議員 今後、青年部やまた、それ以外の団体があるのならば、その団体とも、しっかりと連携を取って、真剣に取り組んでいきたい。

改正子ども子育て・支援法の成立により、市民税非課税世帯の3歳児未満の保育料が無料化になる。現在、保育園に通っている数が非常に少ない状況である。無料化になることで、保育園に通っていない児童の入所数増加が見込まれるが、現時点で、施設の規

模と保育士が対応できるのか伺いたい。

市民福祉部長 本年10月から幼児教育・保育の無償化が、正式にスタートすることになっている。3歳未満児の市民税非課税世帯、それから3歳児以上児の保育料が無料となるため、入所希望の増加が見込まれる。現時点の入所者750人なので、あと65人の受け入れが、可能になっている。受け入れ人数が、大幅に上回り保育園のほうで施設の増築、新築の申し入れがある場合には、国の補助金を活用して整備支援を行い、就業サイトを活用し保育士の確保の支援ができるよう、努めていきたいと思っている。



宇島駅の管理運営について



古川 哲也

古川議員 初めに、一種の無人化状態になっている三毛門駅と豊前松江駅でどのような管理運営をしているか伺いたい。

総務部長 三毛門駅については、市の財産であるので、地元の区長会に管理委託をお願いしている。それから、豊前松江駅については、JRの財産であり、数年前から駅員を置かない話の中から交渉し、JRのOB会に豊前市のほうで委託をして管理をしていただいている。

古川議員 利用する皆さんの目線に立って、利用する方が、不利益がないようにしていただきたい。

次に、4月から宇島駅も、朝の10時から夕方4時まで、また、夜の8時以降、駅員がいらない一種の無人

化状態になっている。5月下旬にJRに申し入れをしたと新聞で書いてあったが、どのような答えが返ってきたのか伺いたい。

総務部長 5月下旬に直接要望を行うべく、市長、他5名でJRを訪問した。要望書の内容については、駅員不在による利用者サービスの著しい低下、安全性の担保がないこと等を強く主張したうえで、以前のように駅員を配置するよう申し入れを行った。また、配置できない場合は、不在時間の短縮や利用者へのサービスの維持のため、自動券売機の高機能化等をお願いした。期待している回答はきていない。

古川議員 JR宇島駅の中を観光協会が管理運営するということは可能なのか。

観光物産課長 当初より、積極的に宇島駅の活性化と利便性の向上に努めてきた。観光協会が受けることにより、宇島駅の無人化、

特急路線の廃止に、拍車をかけることになるので、慎重に対応していくよう、観光協会と一緒にJRと協議に入っていきたいと思っている。

古川議員 JR宇島駅をどのような方向性で維持運営をしていくかと、お考えか伺いたい。

市長 宇島駅は、豊前市の大きな玄関口で、特急が停まる駅ということで私たちがしっかりと活用し、守っていかなければならない。そういう意味で我々も地域の皆さん、商工会議所の皆さんの力を借りながら、一体となって駅舎を活用し、元気の源になるように取り組んでいこうと思っている。

古川議員 民間の方も、一生懸命頑張っているのので、どうぞ後押しをよろしく願います。



JR 宇島駅

無党派議員の合同視察研修



厚生労働委員会の傍聴の様子

令和元年5月13日～14日の日程で無党派議員合同視察研修を行いました。

総務省にて「ふるさと納税について」、出入国在留管理庁にて「在留資格(特定技能)について」、国税庁では、「消費税の軽減税率制度について」の具体化例及び説明を受けて有意義な意見交換を行うことができました。

次の日には、厚生労働委員会の社会保障及び労働問題等の傍聴を行いました。

福岡県北部市議会議長・副議長会



福岡県北部市議会議長・副議長会の様子

令和元年5月21日(火)春の「福岡県北部市議会議長・副議長会」が豊前市で開催されました。座長は、開催市である豊前市議会の磯永議長が務め、議事の進行を行いました。

議案の審議を行った結果、議案第1号「教職員定数等の充実改善について」及び議案第2号「介護保険制度の安定的運営等について」を共同提出議案として、福岡県市議会議長会に提出することを決定しました。

防災パートナーシップに関する協定書



防災パートナーシップに関する協定書締結の様子

令和元年5月9日に豊前市と九州朝日放送株式会社との間で防災パートナーシップに関する協定書が締結されました。このたびの協定は市内において災害発生時または発生する恐れがある場合にテレビ・ラジオを通じて災害情報や防災情報を提供することで、被害の軽減、安全の確保に努めることを目的としています。

常時、九州朝日放送が保有する災害映像の提供や、出前講座などを通じて、防災意識の向上に向けた取り組みを予定しています。

災害時における一時避難施設の使用に関する協定書



災害時における一時避難施設の使用に関する協定書締結の様子

令和元年6月10日に豊前東部工業団地に立地する「ムロオカ産業(株)九州工場」と大雨などの災害時に、工場施設の一部を一時避難所として利用する協定を締結しました。

災害時には、工場の2階の食堂と和室を避難施設として利用させていただく予定です。

議会事務局からのお知らせ

政治家の寄附の禁止(公職選挙法第199条の2第1項、第2項)

**豊前市議会は、初盆参り等については、
法令遵守をいたします。**

全国市議会議長会表彰



第95回全国市議会議長会定期総会



尾澤満治議員 (15年表彰) 磯永優二議長 (20年特別表彰) 古川哲也議員 (15年表彰)

尾澤満治議員(議員15年表彰)、古川哲也議員(議員15年表彰)と磯永優二議長(議員20年特別表彰)が、令和元年6月11日に東京で開催された第95回全国市議会議長会定期総会において、市政振興に尽くされた功績が認められ、表彰されました。

平成豊友会・平成豊明会の視察



豊前市環境センター視察の様子

令和元年5月29日に豊前市環境センターの視察に行きました。生活環境課から、し尿処理施設の概要の説明を受け、前処理施設・公共下水道への繋ぎ込み工事の状況や各施設等を見学し、会議室で質疑等、意見交換を行いました。

作品の掛け替え



青豊高校書道部による書の掛け替えの様子

令和元年5月22日に青豊高校書道部の部員5人が市議会議員控室と市長室の書作品を掛け替えに来られました。前身の築上中部高校時代からの恒例行事で、今年で22回目となります。

議員控室には、野田麻華さんの作品「愛」が飾られました。同部は、市役所のほか豊前警察署などにも書の貸出しをしているそうです。

編集後記

6月6日から始まった6月議会も、議案15件中1件は否決しましたが、残りの14件は可決し21日に閉会しました。議会中の議員の見せ場といえば一般質問ですが、議案を審議するのは産建・文教・総務の各常任委員会となります。この常任委員会では議案の審議だけでなく、市民が安全安心に暮らせるために一般質問も行なっています。散々めめたし尿処理場の問題も何とか方がつきそうですが、最後の最後に心配な事案があり委員会の一般質問で市執行部の意見を問いました。委員会の傍聴も可能です。実際どのような議論がされているのか確かめてみるのも市政参加の一つだと思いますので、ご検討してみてくださいはいかがでしょうか？

内丸 伸一

次回の定例市議会は
9月です

議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。多数の方の傍聴をお待ちしています。

- 編集 編集委員会
委員長：黒江哲文
副委員長：郡司掛八千代
委員：内丸伸一 秋成英人
古川哲也

- 印刷 築上印刷有限会社